

令和6年度第5回チーム有馬郡合同研修交流会
 ◆地域包括ケアシステムの「基本のキ！」を学ぼう =救急編②=
 アンケートまとめ

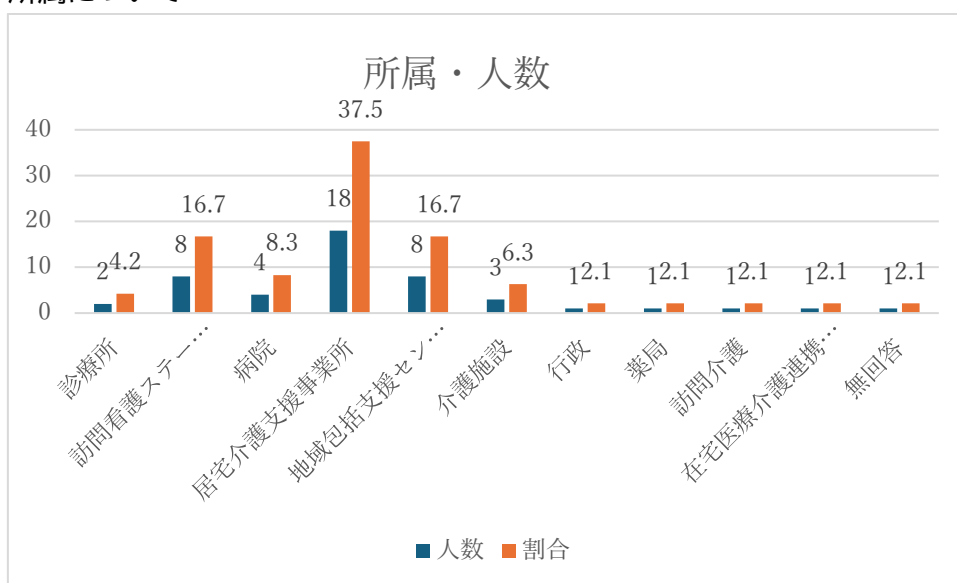
日時：令和7年1月20日（月）13：00～16：00

場所：三田市総合福祉保健センター 多目的ホール

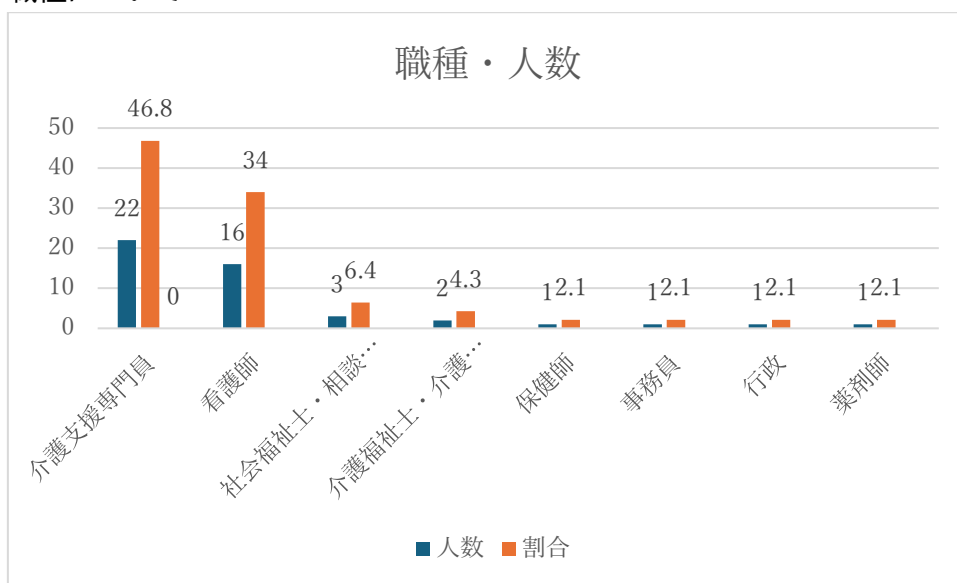
参加者：58名(講師・関係者・スタッフ含む) 回答数：48名(回答率82%)

問1 所属、職種について教えてください。

所属について



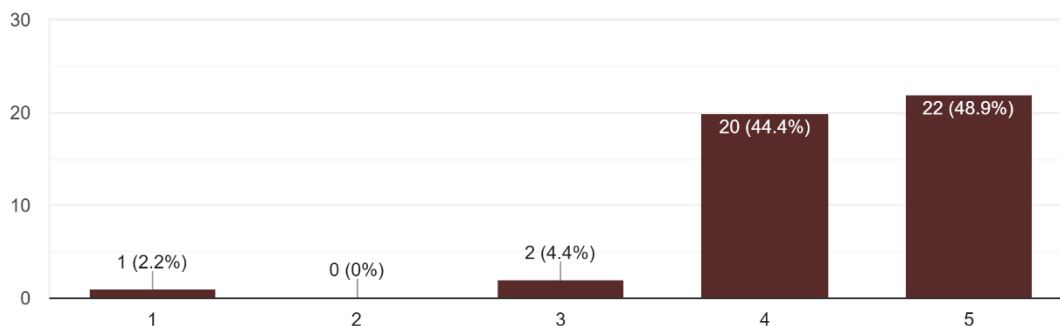
職種について



問2 今日の研修会全体について、最も近い数字に1つ、○をつけてください。
(1 不満-5 満足)

研修は全体的にいかがでしたか？

45 件の回答



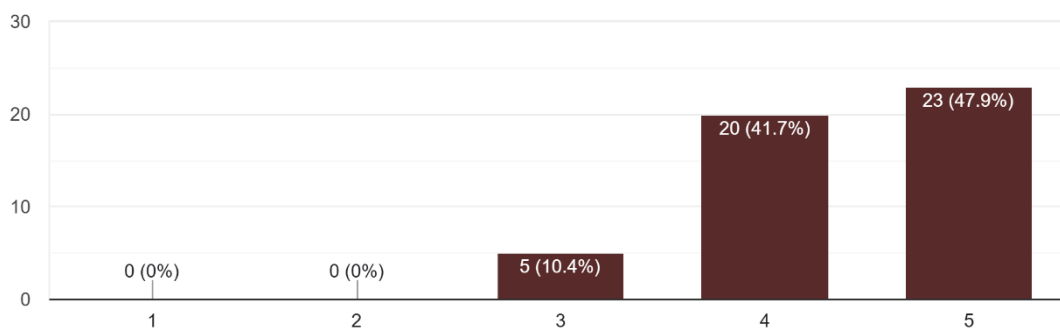
問3 研修会の内容についてお聞きします。

●「神戸市 DNAR の実施、現状及び課題について」の講義について最も近い数字に○を
つけてください。

(1 理解出来なかった-5 理解できた)

神戸市DNARプロトコルの実施 現状および課題について

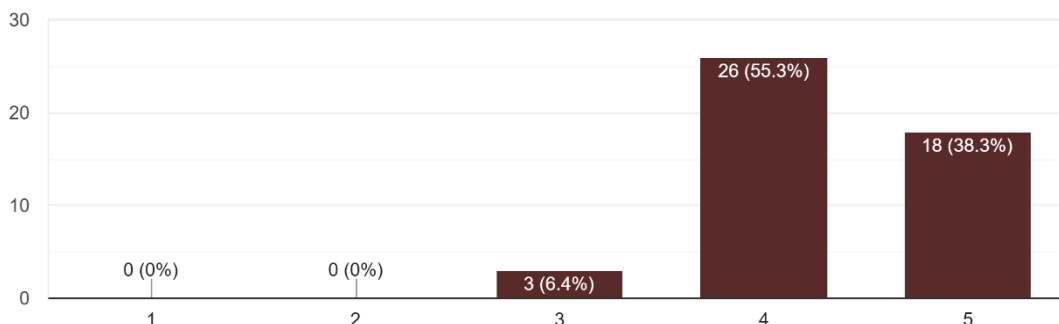
48 件の回答



●「患者の急変や緊急入院などに向けた情報共有のあり方」の講義について最も近い数字に○をつけてください。

(1 理解出来なかった-5 理解できた)

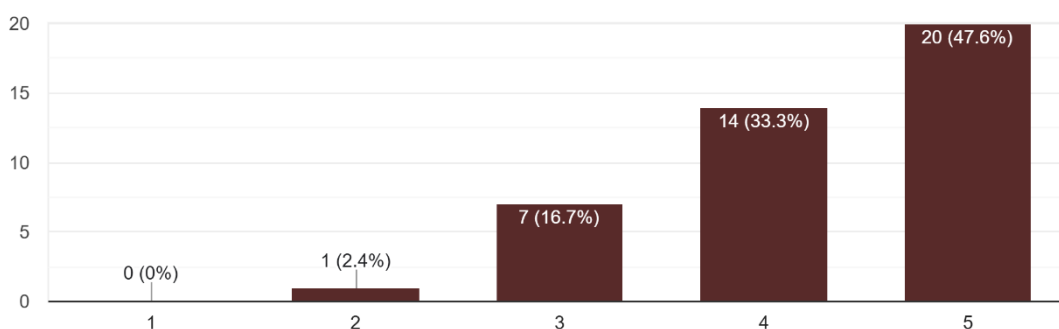
「患者の急変や緊急入院などに向けた情報共有の在り方」の講義について
47 件の回答



●「グループワーク」について、最も近い数字に○をつけてください。

(1 参加出来なかった-5 積極的に参加出来た)

「グループワーク」について、最も近い数字に1つ、○をつけてください。
42 件の回答



問4 今回のテーマの「救急」についてもっと詳しく知りたいと思うことはありますか？

救急と延命の違いを一般の方に理解していただくためにはどうすればよいか。

職種立場の違いから視点のちがう様々な意見が聞けました。楽しく参加させていただきました。

情報の1本化の方法でよい方法があれば考えていただきたいです。

本人と家族の意志の同じ方向でないといけない

あんしんシートの薬局での配布は可能ですか。

救命と延命の違い。救急車を呼ぶタイミングを事業所ではルールを決めているが難しい。

たくさんの専門職に話が聞くことができ勉強になりました。

実例のふりかえり グループワークをもっとやってみたい

市によって違うのがびっくりしました。各市のことを理解しないといけないと思いました。

三田市の体制について

いろいろな場面があると思います。事例としてのお話を聞きたいと思いました。

単独の市で対応をしていることを近隣の市で話し合ったり統一していく方針があるか。なければそのような動きがあるとよいなと思います。

よくわかりました。

救急要請をしたときのデモンストレーションをしてみたい。救急隊員と介護士で実際119したときの予行演習みたいな

三田市においてみやっこケアノートやあんしんシートになるものについて紹介してほしい

問5 講義等への質問や感想があれば自由にご記載ください。

とても分かりやすい内容でした。

他職との連携は勉強になりました。

手元に資料があればもっと理解出来やすかったと思いました。グループワークはいろいろな意見がでて参考になりました。

勉強になりました。

DNAR プロトコールについて初めて知りました。もう少し学びたいです。

DNAR プロトコールについて再認識できた

常日ごろから医療生活どちらでも、本人や家族の意向確認を決定しておくべき。準備すべきを感じた。

神戸市は進んでいるなあと思いました。三田市も神戸市のように進んでほしい。今後も研修会へ参加し学びたいと思っている。

プロトコールについてとてもよくわかりました。病院内でも周知したいと思いました。

救急における問題点がたくさんありとても考えさせられました。

神戸市の DNAR は本人・家族の意向にそい感心した。だが、そういう方は救急要請をする必要がないようサービス事業所がしっかりと支援したいと感じた

市をまたいだ対応は？普及活動をもっとしてほしい。

グループワークでは各種専門職あらゆる視点から貴重な意見を聞くことができた。改めて気づくことができた。

みやっこケアノート(訪問看護 st)が参考になったが、市独自の統一した書式があると望ましい

と思う。またその更新を誰がするのか。医療・看護・介護・家族それぞれの立場で記載し一冊のファイルがいい。実際に活用できるものができるように考えてほしい。

本人・家族の意向を大切にしながらすりあわせていく過程がとても大切だと思いました。自分の意思をしっかりと伝えられる時に周りの方(専門職も家族も)聞き取ったり意識して関わることが大切だと改めて感じました。

西宮市には ACP の冊子がありません。今後家族様と共に考えていく上で、作成していただければ本人様へのよりよい支援ができると思います。

色々な地域職種の方とお話ができ勉強になりました。楽しかったです。

DNAR プロトコールについて詳しく知らずとてもよかったです

ACP の研修 導入の具体例が知れたらうれしい。

みやっこケアの^との運用についてわかりやすかったです

◎講師の先生方、参加者のみなさま、ご協力ありがとうございました。

チーム有馬郡一同（北区医療介護サポートセンター、西宮市北部在宅療養相談支援センター、三田市在宅医療・介護連携支援センター）